



大森二中だより

令和4年度 大森二中の合言葉「思いやり」
スローガン 笑顔満開 いつも心に太陽を！

令和4年度
令和5年2月号
大森第二中学校
校長 成清敏治
電話 3762-6456

「情報」に振り回されない生き方を！

先日あるテレビ番組を観ていたら、今を生きる私たちが本当に気を付けなければいけないことが放送されていました。それは一言でいえば「情報」についてです。毎日、SNSで拡散される情報は億単位で更新されていると言われていています。また情報量は10年前の数百倍、数千倍とも言われています。情報爆発の時代です。ロシアとウクライナの戦争が始まって間もなく1年になりますが、最近では相手の意思を削ぎ、嘘の情報（いわゆるフェイク）を流して戦意を無くすプロパガンダ（宣伝）が多くなっているそうです。現代社会は、毎日のように大量の情報が流されています。その情報を1つ1つ判断して、皆さんは正しい情報だけを得ていると自信をもっていえますか。ここで皆さんに1つ問いを發します。

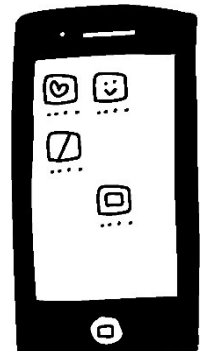
「その情報を見ている自分の判断が、絶対に正しいといえる自分が本当に正しいと思いますか」

複雑な問いのように思いますが、要は単純です。その情報に対する自分の判断が絶対に間違っていないか自信がありますか、ということです。

スマホが登場して飛躍的に情報発信が簡単になり、様々な情報がSNS上を垂れ流し状態でアップされています。パネルタッチで上から下へ情報をスクロール、1日にどれだけの情報に私たちはさらされているのでしょうか。

判断を下す場合、本当であればじっくり考えたり、複数の情報から判断したり、複数の人と意見を交換したりして、その情報の真偽を判断するのですが、その時間が確保できないぐらい忙しい。詰まるところ、時代の流れや変化に流されて自分の判断だけで情報に振り回されている状況になっているのです。これが情報による「分断」の始まりです。正常な判断ができずに、人が人を信頼できなくなる。人と会うのが煩わしくなり避けている。このような現代社会の状況により、意図的・計画的に流された情報によって、人間の心が分断されていると、そのテレビ番組は指摘していました。

人間は、人と人之間と書きます。人間同士が対話し、共感し、思いやりをもって過ごす社会を構築するのが、本当の人間社会だと考えます。自己主張しかせず相手を見下す。自分の考えに固執して他者の考えを入れないで批判ばかりする。自分のことを優先し、他者との励ましや協力を否定する。そんな人間ばかりになると、社会は真っ暗闇です。未来に希望ももてません。皆さんが中学校時代に人間への信頼感や協調性をもつことは、今後の社会にとっても重要なことです。直接会って学び合う、この学校生活を大事にしてください。それ以上の思い出は築けません。毎日、互いに声を掛け合いながら、笑顔で過ごしていきましょう。(2月6日 全校朝礼)



全校朝礼)